



水コンサルタントになろう！

対外活動委員会下水道展小委員会／委員長
(オリジナル設株式会社／DX推進部次長)

平島昌雄



1. はじめに

2022年度下水道展が8月2～5日の4日間、東京ビッグサイトで開催され、水コン協は「水コン協カフェ'22 東京」と題した展示ブースを出展し参加しました。また、インターネットの「下水道展'22 Online」にも7月26日～8月19日の期間でオンラインサイトを展出了しました。

2. 出展目的と企画内容

(1) 出展目的

下水道展への出展は、第三期中期行動計画の基本方針「人材確保支援のためのイメージアップ活動」の一環とし、就職活動を控える夏季休暇中の学生に対して水コンサルタントの魅力をアピールすることで水コン協及び会員企業のイメージアップを図ることを目的としました。

(2) 企画内容

昨年の'21大阪開催に続き今夏も新型コロナウイルスの流行は治まっておらず、第7波のピークの中での開催となりましたが、イベント開催等の行動制限が緩和されていたこともあり、展示ブースに学生を集客してのイベントを企画し、オンライン展示では告知を行うことになりました。

展示ブースは、「水と人、次世代へつなげる」というメッセージを掲げ、誰でも気軽に入れるような街角のオープンカフェをイメージしたデザインで作成しました。また、水コンサルタントの説明パネルや動画を展示し、学生を集客しての職業紹介イベントを実施しました。

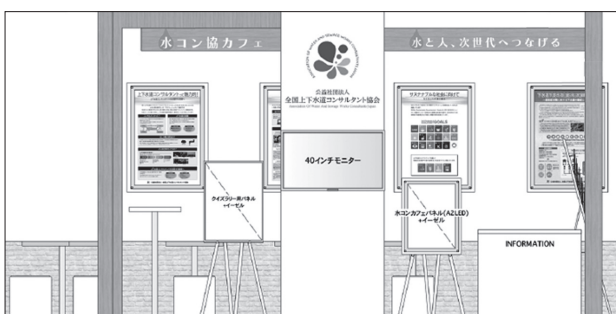


図-1 展示ブースのイメージ

コンセプトとキャッチフレーズ

- ◆コンセプト：水コンサルタントという職業の魅力を伝える
- ◆キャッチフレーズ：水コンサルタントになろう！

3. 運営体制と準備活動

(1) 運営体制

本部対外活動委員会内の「下水道展小委員会」にて出展方針と内容を検討し、関東支部会員企業から公募する「下水道展運営委員会」には若手を中心に招集し、準備を進めました。

下水道展本番では、下水道委員会並びに本部事務局の協力を得てブースを運営しました。

- ・下水道展小委員会（以下、小委員）：出展企画、運営委員会及びブース運営の支援、集客活動、オンラインサイト作成
- ・下水道展運営委員会（以下、運営委員）：学生向けイベントの企画・準備・主催、ブース運営
- ・関東支部下水道委員会：自治体等のブース訪問者の応対
- ・対外活動委員長：出展企画へのアドバイス、ブース運営の支援
- ・本部事務局：各委員会及びブース運営の支援

また、下水道展'22 Onlineでは、小委員会にて出展内容を検討し、オンライン展示サイトに掲載する紹介ページ等の作成を行いました。

(2) 出展準備

これまで、小委員会を前年10月頃に開催し出展準備に着手していましたが、'19横浜開催と企画内容を変えず、小委員も留任してくださったことから、準備期間を短縮し2022年4月に第1回小委員会を開催しました。その後、運営委員の公募を経て、5月に第1回運営委員会を開催し、出展準備を進めました。

運営委員会は、本部会議室での集合とリモート会議を併用して開催しました。運営委員の若手コンサルが学生への説明内容について議論を交わし、本番に向けて発表練習を繰り返し、説明資料や発表内容をブラッシュアップ

プしました。

<下水道展'22東京の準備活動>

- 4月1日 下水道展小委員会(第1回)
- 5月17日 下水道展小委員会(第2回)、下水道展運営委員会(第1回)
- 6月8日 下水道展小委員会(第3回)、下水道展運営委員会(第2回)
- 6月28日 下水道展小委員会(第4回)、下水道展運営委員会(第3回)
- 7月20日 下水道展小委員会(第5回)、下水道展運営委員会(第4回)

(3) 集客活動

学生の集客に際しては、前回使用した大学訪問リストをもとに、小委員で訪問先を分担し、研究室教官や就職担当窓口イベント案内リーフレットを持参あるいはメール等で周知しPRを行いました。

また、水コン協ホームページには、開催案内とイベント参加者用エントリーフォームを掲載しました。



図-2 水コン協カフェイベント案内のリーフレット



図-3 水コン協ホームページのエントリーページ

4. 展示内容

(1) 会場の展示ブース

会場の展示ブースでは、水コン協の説明LEDパネルを展示し、活動紹介用の動画コンテンツを放映しました。また、訪問者にはパンフレットや協会誌等の各種資料を配布しました。

① LEDパネルの展示内容

- ・上水道コンサルタントって魅力的！
- ・水コンサルタントの職場
- ・サステナブルな社会に向けて
- ・下水道が支える健康で安全な暮らし



図-4 展示したLEDパネル(4点)

② 動画コンテンツの放映

展示ブース外側の壁面モニターでは、活動紹介用の動画4点を放映しました。

- ・水コンサルタントになろう！仕事内容編
- ・水コンサルタント紹介動画(水道編)
- ・水コンサルタント紹介動画(下水道編)
- ・水コンサルタント紹介動画(SDGs編)

(2) オンライン展示

下水道展'22では、インターネット上でのオンライン展示も開催され、当協会の紹介と動画コンテンツを掲載しました。



図-5 オンライン展示での企業案内・みどころ紹介

①オンライン展示サイト

オンライン展示サイトでは、東京ビッグサイトの展示ブースで開催する学生向けイベントの告知や出展者紹介を掲載しました。

②動画コンテンツ

水コン協の紹介動画2点を掲載しました。

- ・水コンサルタントになろう！仕事内容編
- ・水コンサルタント紹介（下水道編）

5. 展示ブースの運営状況

(1) 来場者数

コロナ禍での開催となりましたが、下水道展全体では30,349人が来場し、水コン協の展示ブースには196人（クイズラリー参加者を含めると664人）が来訪しました。'21大阪開催との比較では、下水道展全体では約2.4倍、当協会の展示ブースでは約1.2倍（クイズラリー参加者を含めると約2倍）でした。

(2) 展示ブースの運営体制

展示ブースの運営は、事前に各日の役割毎に担当者を



写真-1 出展ブースの全景

決めました。運営委員は、学生の受付及びイベント運営とクイズラリー訪問者対応にグループを分けそれぞれ専任し、小委員がサポートを行いました。また、学生以外の自治体等の訪問者は、関東支部下水道委員と対外活動委員長、国会議員等の来賓は本部事務局が対応しました。

(3) 学生向けイベントの様子

展示ブースでの学生向けイベントでは、4日間を通して様々な大学から多くの学生が訪れ、予定者数を上回り熱気に満ちた回もあれば、参加者が少なめな回では親身になってきめ細やかな対応ができていました。

「若手コンサルの経験談」では、まずは雑談を交えた講師紹介でアイスブレイクしました。水コンサルとの仕事内容の説明では、実際に自分が担当した業務を例にあげ、少し専門的な用語も使いながらの説明でしたが、向学心のある学生さんたちは食い入るように話に聞き入っていました。水コンサルの一日の紹介では、デスクワーク以外に出張や外出が多いことに驚く学生さんもいました。年間スケジュールの説明では、大学の定期考査と同じように仕事でも納期や年度末は忙しくなると説明すると、



写真-2 学生向けイベントの受付状況



写真-3 水コン協カフェのメニューボード



写真-4 若手コンサルの説明に聞き入る学生さん

皆一様に渋い表情をしていました。

「他企業のブース廻り」では、各企業の方が製品について説明してくださり、下水道事業は多くの分野の様々な企業や団体の活動により支えられていることを実感できたようでした。

イベント最後の「本音トーク」では、「水コンで働くには学生時代に何を勉強すると良いですか?」と言った、非常に頼もしい質問がたくさん出ていました。若手コンサルは、自分の考えがしっかりと伝わるように身振り手振りを交えて丁寧に説明していました。なお、周囲に他の年配のスタッフがいると、学生も若手コンサルも気を使ってしまうことがあったようで、次回の改善に繋がりたいと思います。

下水道展での水コン協カフェは、運営委員の若手コンサルにとっては、準備段階から他社の技術者たちと協力してイベントを運営するという普段は味わえない貴重な体験ができたイベントとなりました。

(4) クイズラリーの様子

例年のようにクイズラリーには、多くの親子連れや一般の方が訪れました。水コン協では、独自に選択問題を



写真-5 クイズラリーと選択問題を楽しむお子さん

用意し、訪問者全員にチャレンジしてもらいました。

子供たちは、学校で学んだことがある問題では目を輝かせて「これは絶対こっち!」と回答したり、親子で正答を話し合ったりと、とても盛り上がるイベントになりました。

6. 併催行事

水コン協は、展示ブース出展の他に8月5日10時より会議棟(607号室)にて「コンサルタントにおける脱炭素の取り組み」と題してセミナー講演を開催しました。

- ・「脱炭素社会の構築に向けた下水道イノベーション」
東京大学大学院工学系研究科 加藤裕之 特任准教授
- ・「下水道における脱炭素化に向けたアプローチ手法」
(株)日水コン 天野猛 氏
- ・「下水処理場のエネルギー自立に向けたとりくみ～海外事例を踏まえて～」(株)NJS ムハンディキ ビクター 氏

7. 開催後のレビュー

(1) 参加学生へのアンケート

参加してくれた学生には、イベント後にアンケートを実施し、34名から回答を得ました。

水コン協カフェを知ったきっかけは、学校関係者が90%を占めましたが、インターンまたは内定先企業からの紹介や当日会場で興味を持って参加した学生もいました。

アンケートの結果、全ての項目で“大変良い”、“良い”といった高評価を得ました。特に「カフェ全体の印象」と「若手コンサルの経験談」は、“大変良い”の回答数が多く、カフェをイメージしたオープンな雰囲気の中で若手コンサルが学生へ「水コンサルタントという職業の魅力」を十分に伝えることができたと思われま

表-1 学生向けイベントのアンケート集計結果

評価	回答数(件) ※色は割合を示す				
	全体の印象	仕事説明動画	若手の経験談	ブース廻り	本音トーク
大変良い	27	11	22	17	19
良い	6	22	12	16	13
普通	1	1	0	1	2
良くない	0	0	0	0	0
全く良くない	0	0	0	0	0

(2) 参加学生の感想

アンケートでは、意見や要望についても自由に記載してもらいました。コメントの多くは大変好意的な内容で、

「水コンサルタント業界や仕事の内容、他の業界との違い、学校では学べない知らないことがたくさん学べた」、「本音トークもとても質問しやすい雰囲気良かった」、「ブース廻りでは専門家の話を聞いて良かった」という、本イベントのコンセプト「水コンサルタントという職業の魅力伝える」を十分に果たせたと思われます。

(3) 運営委員の声

下水道展終了から3ヶ月後の11月に最後の運営委員会を開催し、反省会を行いました。リモートでのモニタ越しではありましたが、久しぶりに真夏の東京ビッグサイトで共に働いた旧友の顔を懐かしみながら、下水道展のレビューについて話し合いました。

①運営委員会

- ・リモートでも参加できたことが良かった反面、懇親会ができなかったのが残念。もっと交流を深めたかった。

②水コン協カフェでのイベント本番

- ・学生さんがたくさん質問してくれたので、水コンという仕事に関心を持ってくれたと感じた。学生との距離を縮められた手応えがあって良かった。
- ・準備段階で発表の練習をして本番に挑んだが、説明が少し長くなったり、回答が抽象的で伝わりにくくなってしまった。
- ・経験談とブース廻りの内容に一体感がなかったので、ブース選定をしっかりとっておけば良かった。

③次回への提言

- ・大学生以外の高専や高校生にも枠を広げてみたい。特に来期の北海道のような地方開催では、有効ではないか。

8. おわりに

下水道展への出展準備を始めた2022年4月から約4ヶ月間と短い期間ではありますが、運営委員を中心にイベント企画、事前準備、集客活動、そして本番の運営まで

を大きなトラブルもなく無事に終えることができました。

運営委員会では、最初は小委員からの説明を静かに聞き入っていた若手コンサルたちが回を重ねるごとに自発的に発言し議論を重ね、「どうすれば学生へ水コンサルタントという職業の魅力伝えられるか?」「学生からこういう質問が出たら分かりやすくこう回答すればよいのでは?」といった活発な意見交換がなされるようになり、数多くのアイデアを出し合うといったコンサルタントらしい協議の場となりました。そういった中でお互いの親交も深まり、本番への準備を着々と進めることができました。

下水道展本番では、就活に熱心な35名の学生がイベントに参加してくれました。終始和やかな雰囲気の中で若手コンサルが自分の仕事観や学生からの質問へ自らの言葉で語り、その熱意が学生にも十分に伝わったようで、メモを取りながら熱心に聞き入っていました。

また、4日間で196名(クイズラリーを含めると664名)の来訪がありましたが、各自が役割をこなしながら率先して受付や親子連れの対応をしてくれました。

新型コロナウイルス流行の第7波が衰えを見せない中、数名の委員が当日やむなく欠席することになりましたが、運営委員、小委員、下水道委員、対外活動委員長、事務局のスタッフが丸一となってブース運営を楽しみ、4日間と短い期間ではありましたが、水コン協ファミリーとしての絆が深まったとても貴重なイベントになりました。

最後に、本イベントの趣旨に賛同し多くの学生を快く送り出して頂いた学校関係者の皆様、イベントに参加して頂いた学生の皆様、クイズラリーで盛り上がってくれた子供たち、ご来場頂いた皆様、ブース廻りにご協力頂いた出展者の皆様、そして運営委員をはじめ関係者の皆様に、誌面をお借りしまして深く感謝を申し上げます。

ありがとうございました。